

● 城東地区 ●
2004 世帯
男 1718 人
女 1835 人
合計 3553 人
R6.1.1 現在

避難ルートの点検と防災マップ作成 自主防災組織の対応

岡の宮文園町

震災発生時、町会の避難ルート上でどのような危険が潜んでいるかについて、岡の宮文園町町会の皆さんと、町内の通路を点検して廻り、防災マップにまとめることができました。なお、防災マップは後日配布予定です。

いざという時には、近隣の方に声をかけ合い、安全に避難していただきたいと考えています。

令和5年度は、9月10日に旭町小学校避難所設置訓練を行いました。大規模な



避難訓練①



避難訓練②



消火訓練

地震の発生時は、消防・救急・救助などが急増し、道路事情も急変するため、自分たちの町は、自分たちで守るしかない状況になる可能性があります。令和6年度からは、町内・地域の方々が協力しあい、地域を守る訓練を始めていきたいです。

(1) 震災直後の健常者・負傷者・不明者を把握するための、安否確認。
(2) 震災発生後、安全な場所への避難において、高齢者や負傷者の方も安全に避

難できるように、近隣の方々と協力しあい、運搬・搬送する支え合い訓練。

(3) 地震発生時は、火災現場周辺の方と風下方向の方々へ、避難の呼びかけを行う。

(4) 火災発生時、出火元の火が燃え広がり、地域火災とならないように、火が大きくなる前の初期消火(消火器)訓練と、町会内への消火器を増設。

(5) 地震発生後の倒壊物や瓦礫の下敷きとなった方をパールのなどの機材を用いて救出訓練。

(6) など、など。

◆追記
この記事を完成させるまで、城東地区防災部会・松本市社会福祉協議会・丸の内消防署の方々のご支援・ご指導・ご協力をいただき、まとめ上げることができました。

この原稿を読んでいただいた方も、いざ災害が発生した際には、どんなことをしたらいいのか、どんな準備をしておいた方がいいのかを少しでも考えていただけたらありがたいと思います。

(岡の宮文園町 佐藤)

健康づくりは挨拶と会話から

あいさつから始まる笑い

あいさつとたわいない日常会話から「笑い」が生まれます。

もともと笑いには笑顔だけの笑いもあれば「ワハハ、ハハ」と大声で腹を抱えた笑いがあります。笑いの種類はいろいろだが、笑いとはたとえ作り笑いでも健康効果があり、ワハハと声を出して笑うとさらに効果は増すといわれています。

台所を守る神様

甲子大黒様の由来

元町北

町会公民館の中に台所を守る神様である大黒様がお祭りされています。

この大黒様は大正12年に、旧家の林家に祭られていた大黒様が委譲されました。

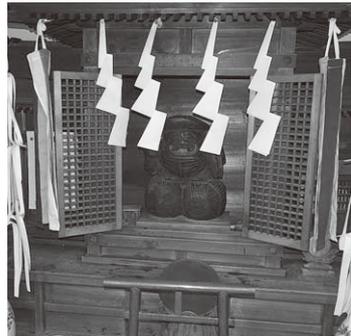
その後、町内の有志が出雲大社松本甲子講を作り、年2回春、秋のきのえねの日に例大祭を行ってきました。

祭りも盛大で町の役員や若衆が長持ちや騎馬行列なども行いました。

戦後は元町公民館の事業として、町内が司ることになり、平成10年の町会の総会で公民館運営委員会が行うことが承認され、例大祭日を毎年11月の第2日曜日に子ども祭りと共催で盛大に行われています。今年の11月、公民館敷地にあった樹齢100年を超え



▲例大祭(令和5年11月12日)



▲元町北公民館 甲子大黒様

(元町北 下山)

ここに何故あるのか
開運弁財天と公民館

元町中



▲元町七本松

元町中公民館がこの地にあること、またこの地で弁天様が奉られていることについて、資料がありますので、ご紹介いたします。
(開運弁財天の由来より抜粋)



▲モルック交流会

古老の話によりますと、この弁財天は子育ての神・商売繁盛・芸能上達の神として信仰が厚く、例祭には町内は申すまでもなく、近郷近在や遠方からも参拝者が多く、大変賑わったそうです。また、人々の願い事がかなったお礼詣り



▲避難所勉強会

には、絵馬額や三味線の撥などを奉納して、社殿を飾ったということでもあります。

明治三十三年、火災のため弁財天のお社が消失、同年新たにお社を造営し、同年九月十四日正遷宮の儀式が執行されました。
お社南側の松の大樹は、幹の高さ二メートル程の所から七本の太い枝が分かれ、枝先

周囲の面積約十五坪に拡がって繁茂しており、「弁財天の御神木」として崇められておりました。昭和の初め惜しくも枯れてしまいました。昭和二十六年三月、松本市はこの地に「元町七本松址」の標木を建て現在に到っております。

本宮を移し奉り、公民館の建物をこれに付属して使わせていただくこととなりました。それ以来、「元町開運弁財天」として慎み崇め祭られています。現在の公民館は平成二十年二月二十五日、火災で消失し、同二十二年に再建したものです。
公民館ではお茶会は勿論、ポッチャ・モルック・勉強会等で活発に活用しています。
(元町中 木下)

命の安全と被害の軽減を図る

北部福祉複合施設「自衛消防訓練」を実施



▲北部福祉複合施設「自衛消防訓練」

7月に続いて12月18日に今年2回目の北部複合施設自衛消防訓練が行われました。
日々の予防管理はもちろん地震・火災の発生時における速やかな避難及び救助活動に

「仲間は心の栄養」

—各講座で培う—

講座

▶10月30日(月) 13名参加
「登山学とウォーキング」



▶11月5日(日) 19名参加
「人権講演会&コンサート」



▶11月9日(木) 42名参加
「新ソバのランチ会と大正琴の演奏会」



▶11月13日(月) 23名参加
「松本城と鬼門」講座



▶12月17日(日) 24名参加
「本格ソンドカレーをつくる」講座



▶12月19日(火) 12名参加
「楽しい排句」講座

より、人命の安全と被害の軽減を図ることが目的です。
内容は「避難誘導訓練」に初期消火訓練と速報訓練などで、館内の職員を始め利用者20名余りが真剣に取り組ま